

信州やまなみ国スポ・全障スポ

(第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会)

伊那市実行委員会 設 立 総 会 ・ 第 1 回 総 会



日 時：令和7年（2025年）10月7日（火）

設 立 総 会：午前10時30分

第1回総会：午前11時

場 所：伊那市役所 501・502会議室

設 立 総 会

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会)
伊那市実行委員会 設立総会 次第

1 開 会

2 あいさつ

3 説明事項

- (1) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の概要
- (2) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 伊那市開催競技及び開催施設
- (3) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 開催準備経過
- (4) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に向けたスケジュール

4 議 事

- 第1号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）伊那市実行委員会の設立について（案）
- 第2号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）伊那市実行委員会 設立趣意書（案）
- 第3号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）伊那市実行委員会 会則（案）
- 第4号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）伊那市実行委員会 委員・役員等（案）
- 参 考 資 料 信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）伊那市実行委員会 組織図（案）

5 その他

6 閉 会

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 (信州やまなみ国スポ・全障スポ) の概要

1 趣 旨

本大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとすることを目的として開催されます。

「国民体育大会」は、スポーツ基本法の改正に伴い、令和 5 年から「国民スポーツ大会」と大会名称が変更されています。

2 主 催

本大会の主催者は、公益財団法人 日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）、文部科学省及び開催地都道府県となっており、各競技会については、日本スポーツ協会加盟競技団体及び会場地市町村を含めたものとなります。

3 開催時期及び開催期間

(1) 第 82 回国民スポーツ大会

本大会開催時期：令和 10 年（2028 年）10 月 1 日（日）～10 月 11 日（水）

本大会開催期間：11 日間

(2) 第 27 回全国障害者スポーツ大会

本大会開催時期：令和 10 年（2028 年）10 月中下旬（予定）

※（公財）日本パラスポーツ協会及びスポーツ庁と協議中（令和 7 年度中に決定）

4 愛称・スローガン・マスコットキャラクター

○愛 称

信州やまなみ国スポ・全障スポ

○スローガン 「行こう。それぞれの頂へ。」

行こう。それぞれの頂へ。

○マスコットキャラクター「アルクマ」



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

○ロゴデザイン



5 実施予定競技

(1) 正式競技：計 41 競技

◆本大会：36 競技（毎年実施）、2 競技（隔年実施）

陸上競技	水泳	サッカー
テニス	ローイング	ホッケー
ボクシング	バレーボール	体操
バスケットボール	レスリング	セーリング
ウェイトリフティング	ハンドボール	自転車競技
ソフトテニス	卓球	軟式野球
相撲	フェンシング	柔道
ソフトボール	バドミントン	弓道
ライフル射撃	剣道	ラグビーフットボール
スポーツクライミング	カヌー	アーチェリー
空手道	銃剣道	クレ射撃
ボウリング	ゴルフ	トライアスロン
馬術（隔年）	なぎなた（隔年）	

◆冬季大会：3 競技（毎年実施）

スキー	スケート	アイスホッケー
-----	------	---------

(2) 公開競技：8 競技

綱引	ゲートボール	武術太極拳
パワーリフティング	バウンドテニス、	エアロビック
スポーツチャンバラ	ダンススポーツ	

(3) 特別競技：1 競技

高等学校野球（硬式・軟式）

(4) デモンストレーションスポーツ

地方スポーツの振興、国民の健康増進、体力の向上等をはじめ、国民のスポーツ振興を図るために、正式競技及び公開競技以外の競技を対象に、生涯スポーツ社会の実現に寄与するという観点から実施することができる競技

第82回国民スポーツ大会競技会場地市町村

1 第82回国民スポーツ大会 正式競技

(1) 本大会

No.	競技・種目		種別	市町村	開催予定施設
1	陸上競技		全種別	松本市	長野県松本平広域公園陸上競技場
2	水泳	競泳	全種別	長野市	アクアウィング (長野運動公園総合運動場総合市民プール)
		飛込	全種別		
		水球	少年男子 女子		
		アーティスティック スイミング	少年女子		
		オープンウォーター スイミング	男子 女子	信濃町	野尻湖特設会場
3	サッカー		成年女子	長野市	長野ヒスタジアム (南長野運動公園総合球技場)
			成年女子 少年女子		南長野運動公園フットボール場 (仮称)
			少年男子	松本市	サンプロアルウィン (長野県松本平広域公園総合球技場) 長野県松本平広域公園芝生グラウンド 長野県松本平広域公園球技場 松本市サッカー場
			少年女子	大町市	大町市運動公園サッカー場 大町市運動公園陸上競技場
4	テニス		全種別	松本市	松本市浅間温泉庭球公園 長野県松本平広域公園庭球競技場
5	ローイング		全種別	下諏訪町	下諏訪ローイングパーク
6	ホッケー		全種別	駒ヶ根市	馬住ヶ原運動場
				飯島町	柏木運動場
7	ボクシング		成年男子 少年男子 女子	東御市	東御中央公園第一体育館
8	バレー ボール	6人制	成年男子	大町市	大町市運動公園総合体育館
			成年女子	安曇野市	A N Cアリーナ (安曇野市総合体育館)
			少年男子 少年女子	松本市	エア・ウォーターアリーナ松本 (松本市総合体育館)
		ビーチバレー ボール	少年男子 少年女子	高森町	高森町ビーチバレーボール場 (仮称)
9	体操	競技	全種別	長野市	ホワイトリング (真島総合スポーツアリーナ)
		新体操	少年男子 少年女子	千曲市	ことぶきアリーナ千曲 (更埴体育館)
		トランポリン	男子 女子	須坂市	須坂市北部体育館
10	バスケットボール		全種別	長野市	ホワイトリング (真島総合スポーツアリーナ) 長野運動公園総合運動場総合体育館 南長野運動公園総合運動場体育館
11	レスリング		成年男子 少年男子 女子	小諸市	小諸市総合体育館
12	セーリング		全種別	諏訪市	諏訪市特設セーリング会場
13	ウエイトリフティング		成年男子 少年男子 女子	安曇野市	安曇野市穂高総合体育館
14	ハンドボール		全種別	千曲市	ことぶきアリーナ千曲 (更埴体育館) 戸倉体育館 千曲市立戸倉上山田中学校体育館
			成年女子	東御市	東御中央公園第一体育館
			少年男子	上田市	上田市自然運動公園総合体育館
15	自転車	トラック・レース	男子A 男子B 女子	松本市	松本市美鈴湖自転車競技場
		ロード・レース	男子A 男子B 女子	富士見町	富士見町特設自転車ロード・レースコース
16	ソフトテニス		全種別	上田市	上田市新設テニスコート
17	卓球		全種別	岡谷市	スワンドーム (岡谷市民総合体育館)
18	軟式野球		成年男子	松本市	セキスイハイム松本スタジアム (松本市野球場) 信州グリーンローズスタジアム四賀 (松本市四賀球場)
				上田市	長野県営上田野球場
				諏訪市	しんきん諏訪湖スタジアム (諏訪市諏訪湖スタジアム)
				茅野市	茅野市運動公園野球場
				佐久市	佐久総合運動公園野球場

19	相撲		成年男子 少年男子	木曽町	木曽町相撲場
20	フェンシング		全種別	箕輪町	箕輪町町民体育館 箕輪町社会体育館
21	柔道		成年男子 少年男子 女子	佐久市	長野県立武道館
22	ソフトボール		全種別	伊那市	伊那ニッパツスタジアム（伊那スタジアム） 伊那ニッパツ野球場（伊那市営野球場） 美すずスポーツ公園運動場 富士塚スポーツ公園運動場 高遠スポーツ公園総合運動場 長谷総合グラウンド
23	バドミントン		全種別	塩尻市	ユメックスアリーナ（塩尻市総合体育館）
24	弓道		全種別	飯田市	長野県飯田運動公園弓道場
25	ライフル射撃	CP	成年男子	長野市	長野県警察学校射撃場
		50m、AP	成年男子 成年女子	福井県 福井市	福井県立ライフル射撃場 セーレン・ドリームアリーナ（福井県営体育館）
		10m	全種別		
		BR、BP	少年男子 少年女子		
26	剣道		全種別	中野市	中野市民体育館
27	ラグビー フットボール	15人制	少年男子	上田市	アンダーアーマー菅平サニアパーク （上田市菅平高原スポーツランド）
		7人制	成年男子 女子		
28	スポーツクライミング		全種別	大町市	旧長野県大町北高等学校跡地特設スポーツクライ ミング会場
29	カヌー	スプリント	全種別	飯山市	北竜湖特設カヌースプリント会場
		スラローム	成年男子 成年女子	高森町	高森町新設カヌー競技場
		ワイルドウォーター			
30	アーチェリー		全種別	佐久市	佐久総合運動公園陸上競技場
31	空手道		全種別	佐久市	長野県立武道館
32	銃剣道		成年男子 少年男子	塩尻市	ユメックスアリーナ（塩尻市総合体育館）
33	クレ射撃		成年	辰野町	長野県営総合射撃場
34	なぎなた		成年女子 成年男子	松本市	エア・ウォーターアリーナ松本 （松本市総合体育館）
35	ボウリング		全種別	長野市	ヤングファラオ
36	ゴルフ		成年男子 少年男子 女子	軽井沢町	軽井沢 7 2 ゴルフ
37	トライアスロン		成年男子 成年女子	岡谷市 諏訪市 下諏訪町	諏訪湖特設トライアスロン会場

(2) 冬季大会

No.	競技・種目		種別	市町村	開催予定施設
1	スキー	ジャイアントスラローム	全種別	飯山市	戸狩温泉スキー場
		スペシャルジャンプ	成年男子 少年男子		市営飯山シャンツェ
		コンパインド	成年男子 少年男子		市営飯山シャンツェ 長峰クロスカントリースキーコース
		クロスカントリー	全種別		長峰クロスカントリースキーコース
2	スケート	スピードスケート	全種別	長野市	エムウェーブ （長野市オリンピック記念アリーナ）
		フィギュアスケート	全種別		ビッグハット （長野市若里多目的スポーツアリーナ）
		ショートトラック	全種別	南牧村	帝産アイススケートトレーニングセンター
3	アイスホッケー		成年男子 少年男子	岡谷市	やまびこスケートの森アイスアリーナ （岡谷市やまびこアリーナ）
				軽井沢町	軽井沢風越公園アイスアリーナ

2 第82回国民スポーツ大会 公開競技

No.	競技	種別	市町村	開催予定施設
1	綱引	全種別	岡谷市	スワンドーム（岡谷市民総合体育館）
2	ゲートボール	全種別	松本市	松本市かりがねサッカー場
3	武術太極拳	全種別	佐久市	長野県立武道館
4	パワーリフティング	全種別	白馬村	白馬村多目的研修集会施設
5	パウンドテニス	全種別	軽井沢町	軽井沢風越公園総合体育館
6	エアロビック	全種別	松本市	エア・ウォーターアリーナ松本（松本市総合体育館）
7	スポーツチャンバラ	全種別	山ノ内町	山ノ内町立山ノ内中学校体育館
8	ダンススポーツ	全種別	安曇野市	A N Cアリーナ（安曇野市総合体育館）

3 第82回国民スポーツ大会 デモンストレーションスポーツ

No.	競技	市町村	開催予定施設
1	マレットゴルフ	池田町	池田町アルプス広場マレットゴルフ場
2	少林寺拳法	佐久市	長野県立武道館
3	スポーツウエルネス吹矢	塩尻市	ユメックスアリーナ（塩尻市総合体育館）
4	チャレンジフェスティバル	阿智村	阿智村立阿智中学校体育館
5	スマートフェンシング	箕輪町	箕輪町町民体育館
6	森林セラピー	松川町	松川町 およりの森周辺
7	スポーツフェスティバル	宮田村	宮田村屋内運動場 他村内 20 施設
8	テコンドー	安曇野市	A N Cアリーナ（安曇野市総合体育館）
9	囲碁ボール	飯島町	飯島町 飯島体育館
10	駅伝	伊那市	伊那市陸上競技場
11	木づり	長野市	長野市 づなっち広場
12	フロアホッケー	長野市	ホワイトリング（真島総合スポーツアリーナ）
13	ボルダリング	小布施町	OBUSE OPEN OASIS （小布施総合公園スポーツコミュニティセンター）
14	カーリング	御代田町	カーリングホールみよた
15	日本拳法	筑北村	筑北村本城体育館
16	飯綱町スポーツレクリエーション	飯綱町	飯綱町ふれあいパーク
17	ボッチャ	富士見町	富士見町町民センター
18	パイアスロン	白馬村	スノーハープ（白馬クロスカントリー競技場）
19	ヒップホップダンス	白馬村	白馬村 ウイング21アリーナ
20	ニュースポーツイベント	山形村	山形村農業者トレーニングセンター 山形村ふれあいドーム 他

4 第82回国民スポーツ大会 特別競技

競技・種目		市町村	開催予定施設
高等学校野球	硬式	長野市	長野オリンピックスタジアム（南長野運動公園総合運動場野球場）
	軟式	飯田市	綿半飯田野球場（長野県飯田運動公園野球場）

第27回全国障害者スポーツ大会 競技会場地市町村の選定

No.	区分	競技	障害区分※			市町村	開催予定施設
			身体障がい	知的障がい	精神障がい		
1	個人競技	陸上競技	○	○	—	松本市	長野県松本平広域公園陸上競技場
2		水泳	○	○	—	長野市	長野運動公園総合運動場総合市民プール（アクアウィング）
3		アーチェリー	○	—	—	佐久市	佐久総合運動公園陸上競技場
4		卓球	○	○	○	岡谷市	岡谷市民総合体育館（スワンドーム）
5		フライングディスク	○	○	—	茅野市	茅野市運動公園陸上競技場
6		ボウリング	—	○	—	長野市	ヤングファラオ
7		ポッチャ	○	—	—	千曲市	更埴体育館（ことぶきアリーナ千曲）
8	団体競技	バスケットボール	—	○	—	長野市	真島総合スポーツアリーナ（ホワイティング） 長野運動公園総合運動場総合体育館 南長野運動公園総合運動場体育館 のいずれか
9		車いすバスケットボール	○	—	—		
10		ソフトボール	—	○	—	伊那市	伊那スタジアム（伊那ニッパツスタジアム） 伊那市宮野球場（伊那ニッパツ野球場） 美すずスポーツ公園運動場 富士塚スポーツ公園運動場
11		グラウンドソフトボール	○	—	—		
12		フットソフトボール	—	○	—		
13		バレーボール	○	—	—	安曇野市	安曇野市総合体育館（A N Cアリーナ）
			—	○	—	松本市	松本市総合体育館（エア・ウォーターアリーナ松本）
	—		—	○	大町市	大町市運動公園総合体育館	
14	サッカー	—	○	—	松本市	長野県松本平広域公園総合球技場（サンプロアルウィン） 長野県松本平広域公園芝生グラウンド 長野県松本平広域公園球技場 松本市サッカー場 のいずれか	

凡例) ○：競技あり、—：対象協議なし

※ 身体障がいは身体障害者福祉法に基づく身体障害者手帳の交付を受けた者。知的障がいは厚生事務次官通知による療育手帳の交付を受けた者。精神障がいは精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者、あるいは、取得対象に準ずる障がいのある者。

信州やまなみ国スポ 競技会場地市町村

正式 国スポ 正式競技(本大会)
公開 国スポ 公開競技

冬季 国スポ 正式競技(冬季大会)
特別 国スポ 特別競技

(2025年4月現在)



信州やまなみ国スポ 競技会場地市町村

デモ デモンストレーションスポーツ

(2025年4月現在)

白馬村

デモ バイアスロン
デモ ヒップホップダンス

飯綱町

デモ 飯綱町スポーツレクリエーション

小布施町

デモ ボルダリング

筑北村

デモ 日本拳法

長野市

デモ 木ゾリ
デモ フロアホッケー

池田町

デモ マレットゴルフ

安曇野市

デモ テコンドー

山形村

デモ ニュースポーツイベント

塩尻市

デモ スポーツウエルネス吹矢



箕輪町

デモ スマートフェンシング

松川町

デモ 森林セラピー



御代田町

デモ カーリング

佐久市

デモ 少林寺拳法

富士見町

デモ ボッチャ

伊那市

デモ 駅伝

宮田村

デモ スポーツフェスティバル

飯島町

デモ 囲碁ボール

阿智村

デモ チャレンジフェスティバル
～小中学生のためのスポーツ体験交流会～

信州やまなみ全障スポ 競技会場地市町村

正式 全障スポ 正式競技(本大会)

(2025年4月現在)

長野市

- 正式 水泳
- 正式 ボウリング
- 正式 バスケットボール
- 正式 車いすバスケットボール



大町市

- 正式 バレーボール(精神)

安曇野市

- 正式 バレーボール(身体)

松本市

- 正式 陸上競技
- 正式 バレーボール(知的)
- 正式 サッカー



千曲市

- 正式 ボッチャ

佐久市

- 正式 アーチェリー



岡谷市

- 正式 卓球(サウンドテーブルテニスを含む)



茅野市

- 正式 フライングディスク



伊那市

- 正式 ソフトボール
- 正式 ブラインドベースボール
- 正式 フットソフトボール



信州やまなみ国スポ・全障スポ
 (第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会)
 伊那市 開催競技及び開催施設

本大会 (国民スポーツ大会)

競技・種目名	種別	開催施設
ソフトボール	成年男子	美すずスポーツ公園運動場 A面 美すずスポーツ公園運動場 B面
	成年女子	伊那ニッパツスタジアム (伊那スタジアム) 伊那ニッパツ野球場 (伊那市営野球場)
	少年男子	高遠スポーツ公園運動場 長谷総合グラウンド
	少年女子	富士塚スポーツ公園運動場 A面 富士塚スポーツ公園運動場 B面

全国障害者スポーツ大会

競技名	種別	開催施設
ソフトボール	知的障がい	伊那ニッパツスタジアム (伊那スタジアム) 伊那ニッパツ野球場 (伊那市営野球場)
ブラインド ベースボール (グラウンドソフトボール)	身体障がい	美すずスポーツ公園運動場
フットソフト ボール	知的障がい	富士塚スポーツ公園運動場

※グラウンドソフトボールは、令和 8 年 4 月 1 日から「ブラインドベースボール」へ名称変更

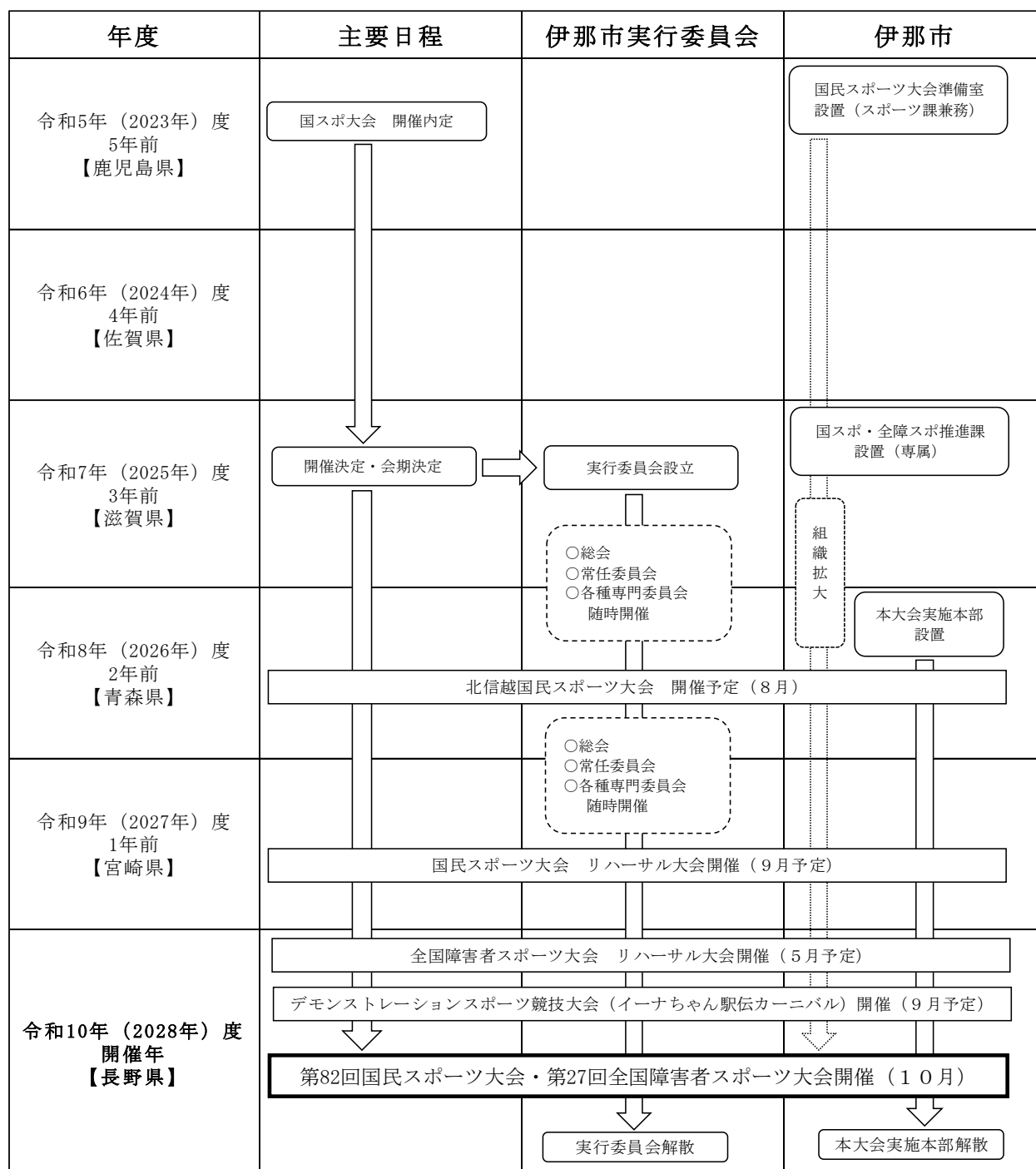
信州やまなみ国スポ・全障スポ

(第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会)

開催準備経過

年	月	内容
平成 28 年	6 月	(公財) 長野県体育協会が、2 巡目国体招致要望書を、長野県知事、長野県議会議長及び長野県教育委員会あてに提出
平成 29 年	2 月	平成 29 年 2 月長野県議会の知事議案説明において、「国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を 2027 年に長野県に招致するべく取り組む」ことを表明
	3 月	平成 29 年 2 月長野県議会において、「第 82 回国民体育大会及び第 27 回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
	5 月	長野県知事、長野県教育長、(公財) 長野県体育協会専務理事、(公財) 長野県障がい者スポーツ協会常務理事が文部科学大臣あてに、第 82 回国民体育大会（本大会及び冬季大会）及び第 27 回全国障害者スポーツ大会開催要望書を提出 長野県知事、長野県教育長、(公財) 長野県体育協会専務理事が(公財) 日本体育協会会長あてに、第 82 回国民体育大会（本大会及び冬季大会）開催要望書を提出
	7 月	(公財) 日本体育協会理事会において、長野県を 2027 年開催の第 82 回国民体育大会（本大会及び冬季大会）の開催申請書提出県として了解（開催内々定）
	12 月	第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会設立総会・第 1 回総会を開催
令和 2 年	4 月	長野県準備委員会 第 4 回常任委員会において、会場地市町村第 3 次選定（内定）本大会：伊那市 ソフトボール
	10 月	(公財) 日本スポーツ協会から、長野県を令和 10 年（2028 年）開催の第 82 回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）の開催申請書提出県として決定通知（開催年変更）
	12 月	長野県準備委員会が名称を「第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会」から「第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会」に改称
令和 5 年	7 月	公益財団法人日本スポーツ協会の理事会において、第 82 回国民スポーツ大会（冬季大会・本大会）の開催地として長野県が内定
令和 7 年	7 月	公益財団法人日本スポーツ協会の理事会において、第 82 回国民スポーツ大会の開催地として長野県が正式決定
令和 7 年	10 月	信州やまなみ国スポ・全障スポ（第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会）伊那市実行委員会 設立総会、総会 開催

信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）
開催準備 プロセス（案）



第 1 号議案

信州やまなみ国スポ・全障スポ (第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会) 伊那市実行委員会の設立について (案)

1 趣旨

令和 7 年 7 月 16 日に開催された (公財) 日本スポーツ協会理事会において、長野県での国民スポーツ大会の開催が決定されたことから、国民スポーツ大会開催基準要項第 25 条第 1 項に基づき、「信州やまなみ国スポ・全障スポ伊那市実行委員会」(以下、「実行委員会」という。)を設置するもの。

〈参考〉 国民スポーツ大会開催基準要項 (抜粋)

25 開催県実行委員会及び会場地市町村実行委員会

(1) 開催県及び会場地市町村は、大会運営のためにそれぞれ実行委員会を設置する。ただし、公開競技に係る実行委員会については、当該中央競技団体が開催関係機関・団体と協議の上、必要に応じて設置する。

第2号議案

信州やまなみ国スポ・全障スポ (第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会) 伊那市実行委員会 設立趣意書(案)

国民スポーツ大会は、昭和21年(1946年)の第1回大会以来、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として開催されています。

また、全国障害者スポーツ大会は、障害のある人が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加の推進に寄与することを目的として開催される障害者スポーツの全国的な祭典です。

長野県においては、昭和53年(1978年)に第33回国民体育大会(やまびこ国体)が開催され、伊那市(旧伊那市、旧高遠町)においてもソフトボール競技を開催し、その成功は本市のスポーツ振興に大きく寄与しました。

令和10年(2028年)に本県で開催される第82回国民スポーツ大会は、前回のやまびこ国体からちょうど50年目の節目となり、本市においては、再びソフトボール競技を開催いたします。また、第27回全国障害者スポーツ大会は、ソフトボール、ブラインドベースボール、フットソフトボールの3競技を開催いたします。

本大会は、市民がスポーツへの関心を高め、スポーツに親しむ契機となるのみならず、次世代を担う子どもたちに夢や希望を与えるとともに、市民の健康増進や更なるスポーツの普及・発展に大きく寄与し、スポーツの裾野を広げる機会となります。

また、本市特有の豊かな自然や歴史、景観、文化、食など様々な魅力を全国に向けて発信できる絶好の機会であるとともに、大会開催に向けた取り組みは市全体の連帯感の醸成につながり、本市の掲げるブランドスローガン「森といきる 伊那市」を広く浸透させていく、きわめて有意義なものとなると期待されます。

このような意義のある大会を成功に導くため、市民の総力を結集し、ここに関係各位の参画を得て「信州やまなみ国スポ・全障スポ(第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会)伊那市実行委員会」を設立するものであります。

令和7年(2025年)10月7日

第3号議案

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会)
伊那市実行委員会 会則 (案)

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）伊那市実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、信州やまなみ国スポ・全障スポ（第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会）において、伊那市で開催される競技会（以下「競技会」という。）の円滑な運営に関し必要な準備を行うことを目的とする。

(所掌事項等)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を行う。

- (1) 競技会の開催に必要な方針及び計画の決定に関すること。
- (2) 競技会の開催に係る準備に関すること。
- (3) 競技会の開催に必要な施設及び設備の整備に関すること。
- (4) 競技会の開催及び準備に係る経費に関すること。
- (5) 関係競技団体、関係団体及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) その他実行委員会の目的達成に必要な事項に関すること。

第2章 組織

(組織)

第4条 実行委員会は、会長及び委員をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 伊那市を代表する者
- (2) 伊那市議会を代表する者
- (3) 関係競技団体、関係団体及び関係機関を代表する者
- (4) 知識経験を有する者
- (5) その他会長が特に必要と認める者

(役員)

第5条 実行委員会に次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 5名以内
- (3) 常任委員 30名以内
- (4) 監事 2名

(役員の選任)

第6条 会長は、伊那市長をもって充てる。

2 副会長、常任委員及び監事は、総会の承認を得て、委員のうちから会長が委嘱する。

(役員の職務)

第7条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ会長が指名した順序により、その職務を代理する。

3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第7項に掲げる事項を審議する。

4 監事は、実行委員会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから実行委員会の目的が達成され、解散したときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属団体又は所属機関の役職を離れた場合は、その委員等は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解くことができる。この場合において、会長は、必要に応じて委員等を補充することができる。

3 会長は、前2項の規定により委員等の変更があった場合は、次の総会において報告する。

4 委員等は、無報酬とする。

(顧問及び参与)

第9条 実行委員会に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会長が重要と認める事項について、会長の諮問に応じて助言を行う。

4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じて助言を行う。

5 顧問及び参与の任期等については、前条の規定を準用する。

6 顧問及び参与は、無報酬とする。

第3章 会議

(会議の種類)

第10条 実行委員会に、次に掲げる会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任委員会

(3) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が招集する。

3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれにあたる。

4 総会は、次に掲げる事項について審議し、議決する。

- (1) 競技会の開催に係る基本方針に関すること。
 - (2) 会則の制定及び改廃に関すること。
 - (3) 事業計画及び事業報告に関すること。
 - (4) 予算及び決算に関すること。
 - (5) 常任委員会に委任する事項に関すること。
 - (6) その他重要な事項に関すること。
- 5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することはできない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面により議決に加わることができる。この場合において、当該委員は出席したものとみなす。
- 6 総会の議事は、出席委員（代理人にその権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 会長は、必要に応じて顧問及び参与に総会への出席を求めることができる。
- 8 会長は、必要があると認めるときは、委員へ事前に送付した議案に対して書面をもって表決を求め、その結果を総会の議決に代えることができる。

（常任委員会）

第 12 条 常任委員会は、委員長、副委員長及び常任委員をもって構成する。

- 2 委員長は、会長をもって充てる。
- 3 副委員長は、副会長をもって充てる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した順序により、その職務を代理する。
- 5 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれにあたる。
- 6 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
- 7 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
 - (1) 総会から委任された事項に関すること。
 - (2) 総会を招集する時間的余裕がない緊急の事項に関すること。
 - (3) 専門委員会の設置並びに専門委員会への付託及び委任に関すること。
 - (4) その他委員長が必要と認める事項に関すること。
- 8 前条第 5 項、第 6 項及び第 8 項の規定は、常任委員会について準用する。
- 9 常任委員会は、第 7 項の規定により審議し、決定した事項及び次条第 2 項の規定により専門委員会から報告のあった事項を必要に応じて次の総会に報告するものとする。
- 10 第 8 条の規定は、常任委員の任期等について準用する。

（専門委員会）

第 13 条 専門委員会は、会長が委嘱した専門委員をもって構成する。

- 2 専門委員会は、常任委員会から付託又は委任された事項について調査、審議し、その結果を常任委員会に報告しなければならない。
- 3 前 2 項の規定に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、常任委員会に諮った上で、会長が別に定める。
- 4 第 8 条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第 4 章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

第 14 条 会長は、特に緊急を要するため総会及び常任委員会（以下本条において「総会等」という。）を招集する時間的余裕がないと認められるとき、又は総会等の権限に属する事項で簡易なものについては、これを専決処分することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

第 5 章 事務局

(事務局)

第 15 条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第 6 章 会計

(経費)

第 16 条 実行委員会の経費は、負担金その他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第 17 条 実行委員会の収支予算は、総会の議決を経なければならない。

2 実行委員会の収支決算は、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第 18 条 実行委員会の会計年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第 7 章 補則

(委任)

第 19 条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(解散)

第 20 条 実行委員会は、その目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。

2 実行委員会が解散した場合において、その残余財産は、伊那市に帰属するものとする。

附 則

この会則は、令和 7 年 10 月 7 日から施行する。

第4号議案

信州やまなみ国スポ・全障スポ
 (第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会)
 伊那市実行委員会 委員・役員 (案)

No	区分	組織	役職等	氏名
1	①市関係	市	市長	白鳥 孝
2			副市長	伊藤 徹
3			総務部長	城倉 良
4			危機管理監	埋橋 進
5			企画部長	飯島 智
6			市民生活部長	柴 公人
7			健康福祉部長	三澤 豊
8			こども部長	村松 義隆
9			農林部長	下島 聡
10			商工観光部長	重盛 巧
11			建設部長	橋爪 豊
12			水道部長	伊藤 一真
13			高遠町総合支所長	清水 俊一郎
14			長谷総合支所長	篠崎 和博
15			教育次長	高嶋 利幸
16			会計管理者	河上 千鶴子
17			議会事務局長	白鳥 英一
18		市議会	議長	田畑 正敏
19			副議長	二瓶 裕史
20			総務文教委員会委員長	宮原 英幸
21			社会委員会委員長	小林 眞由美
22			経済建設委員会委員長	原 一馬
23		市教育委員会	教育長	福興 雅寿
24			教育長職務代理者	北原 秀樹
25		市監査委員	代表監査委員	池上 忍
26	②県関係	長野県	上伊那地域振興局長	池上 安雄
27			伊那保健福祉事務所長	須藤 恭弘
28			伊那建設事務所長	川上 学
29			南信教育事務所長	大槻 覚
30		県議会	長野県議会議員	酒井 茂
31			長野県議会議員	向山 賢悟
32	③スポーツ・競技団体関係	伊那市スポーツ協会	会長	白鳥 孝
33			理事長	伊藤 直人
34		伊那市スポーツ推進委員会	委員長	伊藤 敦
35		長野県ソフトボール協会	会長	白鳥 孝
36		伊那市総合型地域スポーツクラブ	代表理事	春日 明男
37		伊那市ソフトボール協会	会長	唐澤 稔
38	④学校・教育関係	伊那市校長会	伊那市校長会会長	塚越 智英
39		長野県高等学校長会	伊那弥生ヶ丘高等学校 学校長	佐々木 俊秀
40		伊那養護学校	校長	小池 景子
41	⑤社会・市民団体関係	伊那市区長会会長	会長	長田 幸男
42		伊那公民館	館長	細江 孝明
43	⑥医療・福祉関係	伊那市医師会	会長	高橋 丈夫
44		長野県看護協会伊那支部	支部長	向村 いつみ
45		伊那中央病院	院長	本郷 一博
46		伊那市社会福祉協議会	会長	林 俊宏
47	⑦宿泊・観光関係	伊那市観光協会	会長	白鳥 孝
48		伊那商工会議所飲食宿泊業部会	部会長	鈴木 一比古
49		伊那食品衛生協会	会長	宮澤 久和

No	区分	組織	役職等	氏名
50	⑧産業・経済関係	伊那商工会議所	会頭	唐木 和世
51		伊那市商工会	会長	唐木 章
52		上伊那農業協同組合	代表理事組合長	西村 篝
53		伊那青年会議所	理事長	有賀 大輔
54		伊那ライオンズクラブ	会長	原 広典
55		伊那中央ロータリークラブ	会長	井上 修
56		伊那ロータリークラブ	会長	小河 節郎
57		伊那市建設業組合	組合長	栗原 敦司
58		伊那市水道事業協同組合	組合長	北原 俊弘
59	⑨輸送・交通関係	伊那市交通安全協会	会長	湯沢 文雄
60		長野県タクシー協会 諏訪上伊那支部	支部長	白川 光朗
61		伊那バス（株）	代表取締役	藤澤 洋二
62		JRバス関東（株）伊那支店	支店長	西津 芳則
63	⑩消防・警備関係	伊那警察署	署長	駒津 一治
64		上伊那広域消防本部	消防長	中村 晃
65		伊那市消防団	団長	駒井 啓晃
66	⑪報道関係	朝日新聞社松本支局	支局長	小山 裕一
67		中日新聞社伊那通信局	局長	稲熊 美樹
68		信濃毎日新聞社伊那支社	支社長	小幡 省策
69		長野日報社伊那支社	支社長	今牧 文孝
70		伊那市有線放送農業協同組合	組合長	埋橋 良範
71		伊那ケーブルテレビジョン	代表取締役	向山 賢悟
72		市民新聞グループ（たつの新聞、みのわ新聞）	代表取締役	薩摩林 建

計 7 2 名

【役員】

会長 1名（常任委員会委員長）

No	区分	組織	役職等	氏名
1	①市関係	市	市長	白鳥 孝

副会長 3名（常任委員会副委員長）

No	区分	組織	役職等	氏名
2	①市関係	市	副市長	伊藤 徹
18	①市関係	市議会	議長	田畑 正敏
23	①市関係	市教育委員会	教育長	福與 雅寿

常任委員 17名

No	区分	組織	役職等	氏名
21	①市関係	市議会	社会委員会委員長	小林 眞由美
33	③スポーツ・競技団体関係	伊那市スポーツ協会	理事長	伊藤 直人
34	③スポーツ・競技団体関係	伊那市スポーツ推進委員会	委員長	伊藤 敦
35	③スポーツ・競技団体関係	長野県ソフトボール協会	会長	白鳥 孝
37	③スポーツ・競技団体関係	伊那市ソフトボール協会	会長	唐澤 稔
38	④学校・教育関係	伊那市校長会	伊那市校長会会長	塚越 智英
39	④学校・教育関係	長野県高等学校校長会	伊那弥生ヶ丘高等学校 学校長	佐々木 俊秀
40	④学校・教育関係	伊那養護学校	校長	小池 景子
41	⑤社会・市民団体関係	伊那市区長会会長	会長	長田 幸男
43	⑥医療・福祉関係	伊那市医師会	会長	高橋 丈夫
46	⑥医療・福祉関係	伊那市社会福祉協議会	会長	林 俊宏
47	⑦宿泊・観光関係	伊那市観光協会	会長	白鳥 孝
50	⑧産業・経済関係	伊那商工会議所	会頭	唐木 和世
51	⑧産業・経済関係	伊那市商工会	会長	唐木 章
52	⑧産業・経済関係	上伊那農業協同組合	代表理事組合長	西村 簞
60	⑨輸送・交通関係	長野県タクシー協会 諏訪上伊那支部	支部長	白川 光朗
61	⑨輸送・交通関係	伊那バス（株）	代表取締役	藤澤 洋二

監事 2名

No	区分	組織	役職等	氏名
16	①市関係	市	会計管理者	河上 千鶴子
25	①市関係	市監査委員	代表監査委員	池上 忍

顧問 2名

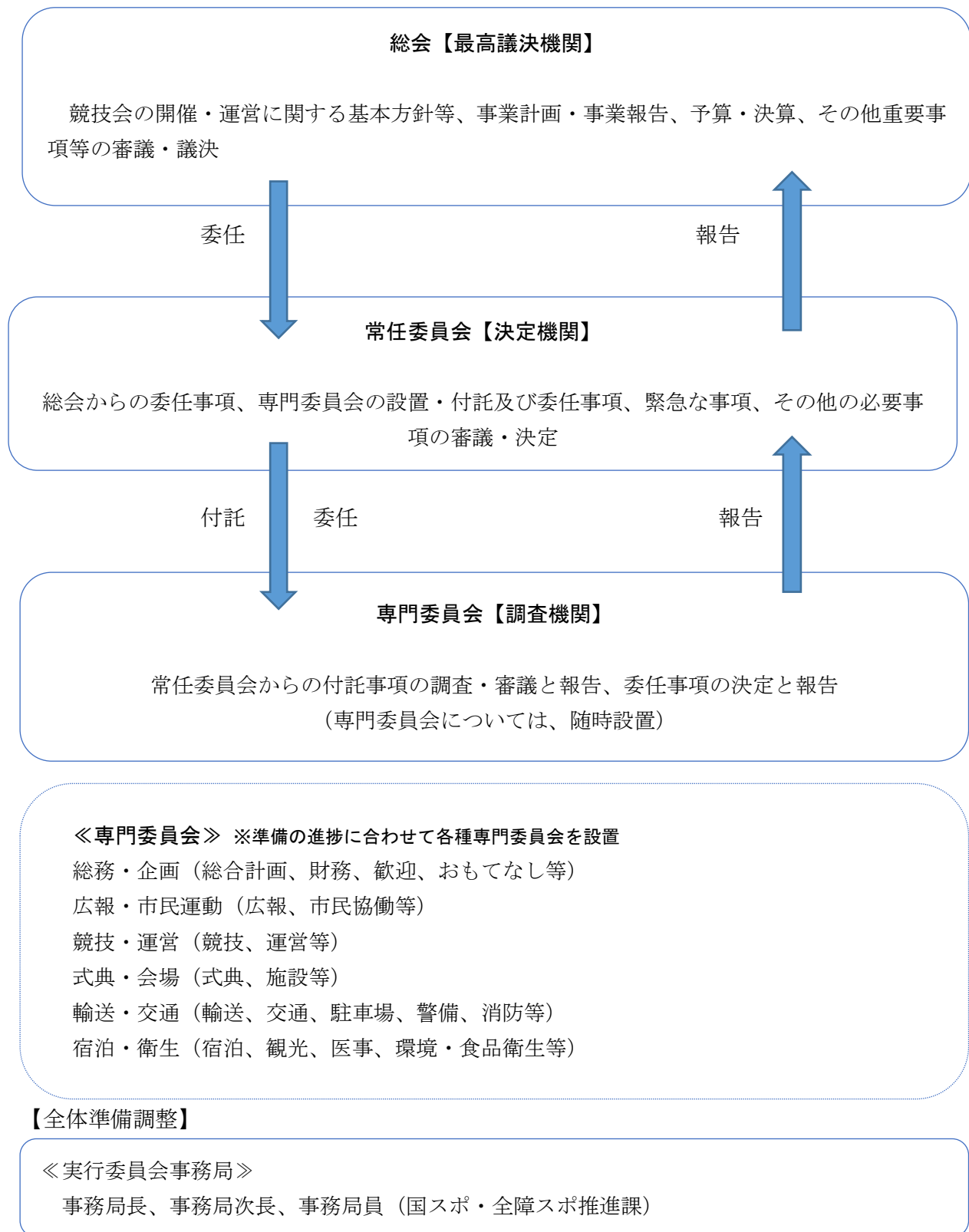
No	区分	組織	役職等	氏名
30	②県関係	県議会	長野県議会議員	酒井 茂
31	②県関係	県議会	長野県議会議員	向山 賢悟

参与 11名

No	区分	組織	役職等	氏名
19	①市関係	市議会	副議長	二瓶 裕史
20	①市関係	市議会	総務文教委員会委員長	宮原 英幸
22	①市関係	市議会	経済建設委員会委員長	原 一馬
24	①市関係	市教育委員会	教育長職務代理者	北原 秀樹
66	⑪報道関係	朝日新聞社松本支局	支局長	小山 裕一
67	⑪報道関係	中日新聞社伊那通信局	局長	稲熊 美樹
68	⑪報道関係	信濃毎日新聞社伊那支社	支社長	小幡 省策
69	⑪報道関係	長野日報社伊那支社	支社長	今牧 文孝
70	⑪報道関係	伊那市有線放送農業協同組合	組合長	埋橋 良範
71	⑪報道関係	伊那ケーブルテレビジョン	代表取締役	向山 賢悟
72	⑪報道関係	市民新聞グループ（たつの新聞、みのわ新聞）	代表取締役	薩摩林 建

(参考資料)

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会)
伊那市実行委員会組織図 (案)



第 1 回 総 会

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会)
伊那市実行委員会 第 1 回総会 次第

1 開 会

2 議 事

第 1 号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ（第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会）伊那市開催基本方針（案）

第 2 号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ（第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会）伊那市実行委員会 令和 7 年度事業計画（案）

第 3 号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ（第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会）伊那市実行委員会 令和 7 年度収支予算（案）

第 4 号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ（第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会）伊那市実行委員会 総会から常任委員会への委任事項（案）

3 そ の 他

4 閉 会

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会)
伊那市開催基本方針(案)

1 基本方針

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会(信州やまなみ国スポ・全障スポ)の開催により、スポーツを身近なものとし市民のスポーツへの関心をより一層高め、生涯を通じて気軽にスポーツを親しめる環境づくりや市民の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加の推進に寄与することなど、スポーツを通じた健康・福祉のまちづくりを推進する大会とします。

また、単にスポーツの祭典にとどめることなく、伊那市のスポーツ振興を図る絶好の機会と捉え、市民一人ひとりが、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で大会に参画することや伊那市の魅力を発信することにより、伊那市の掲げるブランドスローガン「森といきる 伊那市」を広く浸透し、スポーツ文化の発展や地域の活性化につなげる大会を目指します。

2 実施目標

(1) 市民とともに創りあげる大会

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の成功に向け、市民、行政、関係機関・団体、企業など、伊那市に関係するすべてが一丸となって大会を盛り上げていくとともに、喜びと感動を分かち合い、地域の活力を創り出す大会を目指します。

(2) 伊那市の魅力を発信する大会

全国から訪れる多くの方々を心のこもった“おもてなし”でお迎えし、伊那市の豊かな自然や歴史、景観、文化、食などの魅力を発信することにより、伊那市をまた訪れたいと思っただけの大会を目指します。

(3) 生涯スポーツの推進につながる大会

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を契機として、スポーツが持つ意義や効果の浸透を図り、だれもが「いつでも・どこでも・いつまでも」気軽にスポーツに親しめる環境づくりにつながる大会を目指します。

(4) 競技スポーツの振興につながる大会

トップレベルの選手のプレーに触れ、競技スポーツの関心を高めることにより、競技人口の増加、競技力の向上を図るとともに、指導者や次世代の育成など、将来にわたる競技スポーツの振興につながる大会を目指します。

(5) スポーツに関わるすべての人を応援する大会

競技を「する」選手、競技を「みる」観客、大会を「ささえる」関係者が様々な関わりを持ち、お互いの活動に接することにより、すべての参加者が「つながり」や絆を感じられる大会を目指します。

第 2 号議案

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会)
伊那市実行委員会 令和 7 年度事業計画 (案)

1 諸会議の開催

- (1) 総会
- (2) 常任委員会
- (3) 専門委員会

2 開催準備業務の推進

- (1) 専門委員会の設置
- (2) 各種基本計画・要項等の策定
- (3) 広報・啓発活動等の推進
- (4) その他、開催準備に必要な業務の推進

3 関係機関及び関係団体等との連絡調整

- (1) 県国スポ・全障スポ大会局との連絡調整（県が実施する各種調査を含む）
- (2) 県競技団体との連絡調整
- (3) その他、関係機関・団体等との連絡調整

4 先催市の開催・準備状況等の調査研究

- (1) 第 79 回国民スポーツ大会「滋賀大会」の視察及び事業概要説明会への出席等
- (2) 先催市の開催・準備状況の情報収集及び調査研究等

第3号議案

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会)
伊那市実行委員会 令和7年度収支予算(案)

【収入】

(単位:円)

科 目	予算額	備 考
負担金	144,500	伊那市負担金
諸収入	500	預金利息等
合 計	145,000	

【支出】

(単位:円)

科 目	予算額	備 考
総務費	5,000	消耗品費、郵送料、備品購入費等
開催準備費	140,000	先進地視察、調査費等
合 計	145,000	

第 4 号議案

信州やまなみ国スポ・全障スポ
(第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会)
伊那市実行委員会 総会から常任委員会への委任事項 (案)

信州やまなみ国スポ・全障スポ (第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会) 伊那市実行委員会会則第 11 条第 4 項第 5 号の規定に基づく常任委員会への委任事項は、次のとおりとする。

- 1 開催準備の総合企画及び運営に関すること。
- 2 競技会場、競技運営及び式典に関すること。
- 3 宿泊、医事及び衛生に関すること。
- 4 輸送、交通、警備及び消防に関すること。
- 5 広報及び市民運動に関すること。
- 6 その他会務に必要な事項に関すること。



**JAPAN
GAMES**

スポーツは、もっとオモシロイ。